

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地域住民と商店主の協働で「のぞわ商店街」観光地魅力創造事業
事業主体 (連絡先)	のぞわ商店街振興組合 (長野県佐久市原 446 TEL0267-62-0753)
事業区分	(ア) 特色ある観光地づくり 302 世界を魅了するしあわせ観光地域づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,591,062 円 (うち支援金: 1,160,000 円)



事業内容

《「鯉ちょうちん」が吊るされた風情ある街づくり》
 目的：花街だった野沢の伝統文化を再現し、地元小学生の願い事を書き入れた「叶鯉」提灯を商店街に飾り世代を越え商店街の魅力を創出する。
 日時：9月14日(金)・15日(土)
 内容：お座敷山門市(高円寺阿波踊り披露)の開催「叶鯉 提灯」の制作。願い事短冊制作。



【阿波踊りを参加者皆で踊る】

《びんころ地蔵尊 感謝祭》
 目的：年間10万人が訪れる観光名所びんころ地蔵尊の更なるブランド化と次世代への愛着を育む。
 実日：10月13日(土)
 内容：名物ガイドによるびんころ地蔵尊の講演会
 びんころ大型絵本の読み聞かせ、展示会
 びんころマスコット手づくり教室

【目標・ねらい】

- ①地域観光名所のブラッシュアップ
- ②お座敷山門市・びんころ祭の賑い創出
- ③地域外からの誘客と世代間交流
- ④メディア・報道機関を通じたPR

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- 《「鯉ちょうちん」が吊るされた風情ある街づくり》
- ・お座敷山門市 287名の参加
 - ・野沢小学校1～6年生の生徒約73名に叶鯉にちなみ願い事を短冊に書いてもらい商店街の軒下に吊した。
 - ・信濃毎日新聞に掲載(H30.9.18)
 - ・NHK長野放送局での放送(H30.9.15)

※自己評価【B】

【理由】

野沢商店街の活性化と、お座敷山門市やびんころ祭の開催による観光名所の魅力アップに繋がったが一過性に終わらせない工夫をしていく必要があるため。

- 《びんころ地蔵尊 感謝祭》参加者 300名
- ・名物ガイドによるびんころ地蔵尊の講演会 35名
 - ・びんころマスコット手づくり教室 33名
 - ・びんころ大型絵本の読み聞かせ、展示会 20名
 - ・信濃毎日新での掲載(H30.10.18)

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・びんころ地蔵尊のマスコット手作り教室は、公民館活動など草の根運動につなげ高齢者の認知症予防や世代間交流を図っていく。
- ・大型絵本の読み聞かせは、市内読み聞かせ団体や学校へ貸出し、びんころ地蔵尊の慈しみを世代を超えて伝えていく。
- ・叶鯉提灯に願い事を書いてもらう小学校を他の小学校へ広げ、関連の商店街の軒下に提灯を飾る事で、親子での誘客を市内全体へ広げ、各地元商店街への訴求を高める。
- ・「びんころ地蔵尊の名物ガイド」の講演会での動画を使い、ガイドの人材養成につなげる。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

- 「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
- 「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある